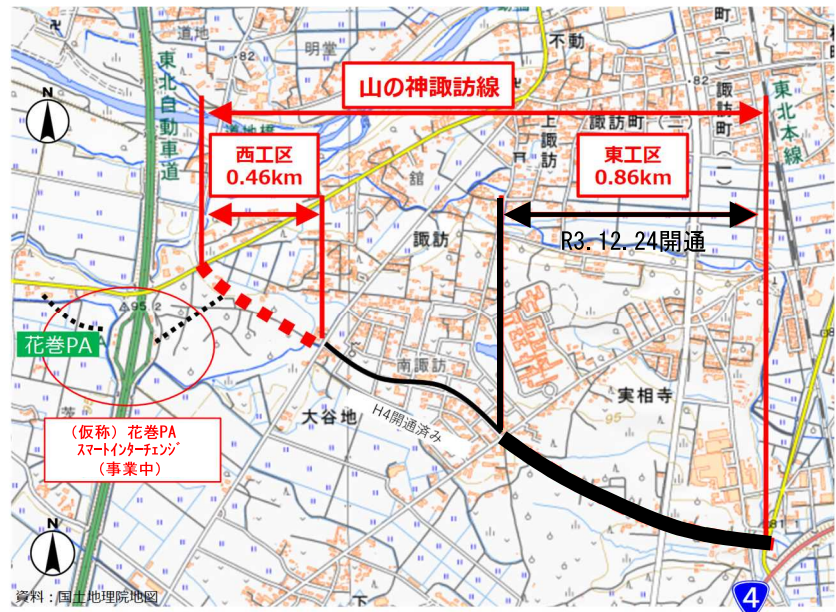
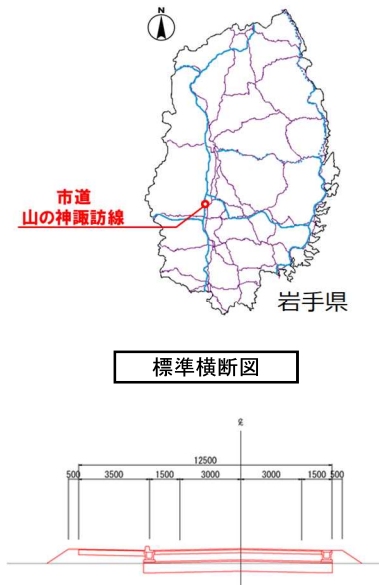


再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

事業名	スマートICアクセス 市道 <small>やま かみすわ</small> 山の神諏訪線 <small>やま かみすわ</small> 山の神諏訪工区	事業区分	地方道	事業主体	花巻市
起終点	自：岩手県花巻市山の神 <small>はなまき やま かみ</small> 至：岩手県花巻市諏訪 <small>はなまき すわ</small>			延長	1.3km
事業概要					
市道山の神諏訪線は、（仮称）花巻PAスマートインターチェンジのアクセス路線を構成し、地域産業の支援、医療・生活支援、地域環境の向上等を目的とし、花巻市山の神～花巻市諏訪までの延長約1.3kmを整備するものである。					
H27年度事業化		S62年度都市計画決定		H29年度用地着手	
R2年度工事着手					
全体事業費	約11億円	事業進捗率	約93%	供用済延長	0.9km
計画交通量	5,600台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 5.9 (残事業) 83.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 0.74/10億円 事業費：0.58/10億円 維持管理費：0.16/0.16億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 62/62億円 走行時間短縮便益：50/50億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：1.2/1.2億円	基準年	令和3年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=5.8～6.0（交通量±10%） (残事業) 交通量：B/C=82.9～83.3（交通量±10%） 事業費：B/C=5.6～6.2（事業費±10%） 事業費：B/C=77.9～90.5（事業費±10%） 事業期間：B/C=5.4～6.4（事業期間±20%） 事業期間：B/C=76.8～85.4（事業期間±20%）					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の支援 製造業や花巻機械金属工業団地、北上工業団地、花巻市公設地方卸売市場における製造品入出荷時等の輸送コスト削減や入出荷量増加が期待される。 ・医療、生活支援 アクセス向上によって、岩手県立中部病院への搬送時間が短縮され円滑な救急医療活動の実施が図られるほか、市民の通勤や買い物、通院等の利便性向上が期待される。 ・地域環境の向上 スポーツ振興が盛んである富士大学とのICアクセスが向上され、試合開催時等における移動時間の短縮が期待される。 					
関係する地方公共団体等の意見					
花巻市等や周辺企業からスマートインターチェンジの整備とあわせて市道山の神諏訪線の早期完成を求められている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
当該事業の東工区（延長0.86km）が令和3年12月24日に開通。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地進捗率100%、事業進捗率約93%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
改良工事等を推進して、令和4年度までの全線開通を目指して事業を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。